

平成31年度 行政事業レビューの改善等のポイントについて(案)

各府省との連携強化

各府省との連携を強化し、行政事業レビューをより効率的・効果的に実施するため、内閣官房行政改革推進本部事務局から各府省に対するヒアリング権限を明確化。

「EBPMレビュー」の試行的実践(継続)

EBPM(証拠に基づく政策立案)の推進の一環として、「公開プロセス」の場を活用するなどして、ロジックモデルやエビデンスを用いたEBPMの観点からの試行的検証を引き続き実践していく。

(参考)これまでの行政事業レビューの主な改善事項

(平成25年度～)

- 各府省の自己点検における外部有識者点検の重点化
(全事業を対象に、5年に一度を目途としてメリハリのある点検を実施)
- 基金シートの創設

(平成26年度～)

- 全府省の行政事業レビューシートに係るデータベースの整備・公開
- 地方公共団体に造成された基金の執行状況等の公表

(平成27年度～)

- 「秋のレビュー」の定例化
- 「公開プロセス」インターネット生中継原則化による同時公開性の確保
- 定量的な成果目標設定の徹底

(平成28年度～)

- 経済・財政一体改革(KPI)・政策評価との連携強化
- 一者応札・随意契約の改善に向けたレビューシートの改善
- 独法運営費交付金のセグメントシートの導入

(平成29年度～)

- 成果目標の設定根拠となる統計・データの追記(EBPMの推進)

(平成30年度～)

- 各府省における「公開プロセス」の強化
- 「EBPMレビュー」の試行的実践